

2022年2月14日

スポーツを通じて世界にはばたく逞しい人材の育成を目指すスポーツチャレンジ助成事業
2022年度(第16期生)「YMFS スポーツチャレンジ(体験/研究)助成」

31件の対象者に総額3,030万円の助成を決定

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports)は、2022年度(第16期生)「YMFS スポーツチャレンジ(体験/研究)助成」について、体験助成14件、研究助成17件、計31件(総額3,030万円)の助成対象者を決定しました。助成金贈呈式は、2022年3月末に実施します。

本助成事業では成果だけを求めるのではなく、目標を掲げ達成に至るまでのプロセスも重視。四半期報告、中間報告会、成果報告会によるPDCAサイクルを実践しながら、高い専門性を持った審査委員からのアドバイスや、助成対象者間での異分野交流などの成長機会を提供する独自のサポートプログラムが特徴です。

近年は、新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、オンラインを活用したサポートを実施してきましたが、2022年度はオンラインも含めたさまざまな方法で、助成対象者が学び、刺激し合える交流会など、チャレンジを加速する質の高いサポートを提供していきます。

2022年度(第16期生)の助成概要 ※活動期間は、2022年4月から2023年3月

| プログラム | 申請件数 | 採択件数 | 助成金額(計) |
|---------------|------|------|---------|
| スポーツチャレンジ体験助成 | 53件 | 14件 | 1,365万円 |
| スポーツチャレンジ研究助成 | 53件 | 17件 | 1,665万円 |
| 計 | 106件 | 31件 | 3,030万円 |

<YMFS独自のサポートプログラム>



※この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当: 三角^{みすみ})

2022年度(第16期生)スポーツチャレンジ体験助成 対象者一覧 (2022年2月1日現在)

「体験助成」は、アスリート・指導者・審判など各種体験活動に対して助成金を交付するもので、3つのカテゴリーで構成しています。

- ジュニア(上限50万円):ジュニア世代の国際大会で実績を有する者
- ベーシック(上限100万円):国際レベルでの活躍を目指す者
- アドバンスド(上限150万円):国際レベルの実績を有する者

※五十音順

| 区分 | 氏名(年齢) | 種目 | チャレンジテーマ | 所属 |
|--------|-------------------------|-----------------------|--|-----------------------------------|
| ジュニア | くわばら りつき 桑原 立貴(14) | 体操競技/選手 | オリンピックの金メダルを目指して | 前橋市立みずき中学校 |
| ベーシック | いとう まりん 伊藤 真凛(17) | フリースタイルスキーモーグル/ 選手 | 2026年ミラノ冬季五輪に出場し、表彰台に上がる | クラーク記念国際高等学校 |
| | おのざわ けんしん 小野澤 謙真(16) | ラグビー/選手 | 2027年ラグビーワールドカップの中心選手として活躍する為に、ラグビー強豪国への海外挑戦 | 静岡聖光学院高等学校 |
| | かなざわ のあ 金澤 野愛(19) | スノーボードアルペン/選手 | スノーボードアルペン競技でワールドカップ決勝出場、2026年ミラノ五輪出場 | 中京大学 |
| | さかとう ひでまさ 坂藤 秀昌(18) | フェンシング(エペ)/選手 | 2024年パリオリンピック大会の出場を目指して、日本代表として世界ランキングの向上に努める | 慶應義塾高等学校 |
| | ささき かずも 佐々木 颯杜(16) | アイスホッケー/選手 | 全米NCAAから北米プロリーグへの挑戦、そして日本代表でオリンピック出場を目指す | ONTARIO HOCKEY ACADEMY |
| | たけした こうせい 竹下 航生(20) | レスリング/選手 | レスリンググレコローマンスタイルで2024年パリ五輪に日本代表として出場し、金メダル獲得を目指す | 拓殖大学 |
| | ちとうしよ ひかる 地頭所 光(25) | 自動車レース/選手 | 世界最高峰の自動車レース、ルマン24時間レースでの優勝 | 東京大学大学院 |
| | ながす ももか 長洲 百香(16) | カヌースラローム/選手 | 世界大会への出場と、ジャパンカップ表彰台 | 習志野市立習志野高校 |
| | なぐさ あきら 名草 慧(28) | ハンググライダー/選手 | アジア人初のハンググライダー世界チャンピオンを目指して! | 公益財団法人 日本ハング・パラグライダー ディング連盟 |
| | むらた のあ 村田 希空(19) | スノーボードアルペン/選手 | スノーボードアルペン競技でワールドカップ入賞、2026年オリピックに出場する | 立命館大学 |
| | もりや たくみ 守屋 拓海(15) | ウインドサーフィン/選手 | ウインドサーフィン フリースタイル競技においてワールドカップに出場し、U17クラスで優勝を目指す | 浜松市立庄内学園 |
| アドバンスド | ふるさと あいり 古里 愛里(39) | レスリング/審判員 | 日本人女性として初のオリンピック国際審判員を目指す | 東洋大学附属牛久中学 高等学校 |
| | むらかみ 村上 レイ(18) | アイスホッケー/選手 | 北米ジュニアホッケーリーグで活躍できる選手になるための挑戦 | Aberdeen wings |

2022年度(第16期生)スポーツチャレンジ研究助成 対象者一覧 (2022年2月1日現在)

「研究助成」は、スポーツにかかわる学問、研究活動に対して助成金を交付するもので、2つのカテゴリーで構成しています。

- 奨励(上限 60 万円): 大学院博士課程に在籍中または学位未修得の若手
- 基本(上限 120 万円): 研究職として活動に従事する研究者

※五十音順

| 区分 | 氏名 | 分野 | チャレンジテーマ | 所属 |
|--------------------|--|----------|--|------------|
| 奨励 | たかみ あやか 高見 采加 | 自然科学 | アスリートのパフォーマンスに関連する脳機能のゆらぎと安定化 | 大阪大学大学院 |
| | たぶち あやか 田淵 絢香 | | 女性特有の運動パフォーマンスの変化はなぜ生じるのか:性周期と筋細胞内環境の関係性からの探究 | 電気通信大学 |
| | やまだ みづき 山田 満月 | | 一過性有酸素運動が Female-to-Male の脂肪酸プロファイルに与える影響 | 日本体育大学大学院 |
| | りぐ 李 格 | | 運動後の低温環境下への身体暴露が食欲に及ぼす影響:運動後の食欲減退への打開策の提案 | 早稲田大学 |
| 基本 | あとう さとる 阿藤 聡 | 自然科学 | 毛細血管に着目した筋肥大効果を最大化するトレーニング方策の開発 | 名古屋工業大学大学院 |
| | いけがみ りょう 池上 諒 | | ヒトにおける運動誘発性筋損傷に対する寒冷療法および温熱療法の有用性の検討 | 新潟医療福祉大学 |
| | おがわ まどか 小川 まどか | | 寒冷暴露で生じるベージュ脂肪化の磁気共鳴画像による評価～ヒト生体での検証～ | 京都産業大学 |
| | くろさか しほ 黒坂 志穂 | | オンデマンド配信型 BONE プログラムの健康効果と動機づけ効果の検証 | 広島大学 |
| | たかはし けんや 高橋 謙也 | | 高強度インターバル運動時の乳酸代謝を調べる | 東京大学 |
| | のなか ゆうだい 野中 雄大 | | 高圧高酸素は筋グリコーゲンの回復を促進させるか? | 金沢大学 |
| | はやし ゆうき 林 勇樹 | | 機械学習を用いた競泳レース分析の高解像度化による新しいストローク分析パラメータの抽出 | 追手門学院大学 |
| | ふくいえ たけむね 福家 健宗 | | 運動実施における意志コストの客観的評価:前頭前野神経活動に着目して | 北海道医療大学 |
| | まえお すみあき 前大 純朗 | | 全可動域または筋伸張位での部分可動域で行う股関節伸展トレーニングの筋肥大と疾走パフォーマンス改善効果 | 立命館大学 |
| | まつはし たくと 松橋 拓努 | | 脳バイオマーカーにもとづいた「やり抜く力」を高めるナッジ手法の開発 | 帝京大学 |
| よしほら としのり 吉原 利典 | 女性のトレーナビリティを決定する因子の探索 —基礎からヒト骨格筋への応用— | 順天堂大学大学院 | | |
| 奨励 | とよしま せいや 豊島 誠也 | 人文社会 | 伝統スポーツとエクストリームスポーツに内在する極限性 —伝統スポーツの新たな変遷に注目して— | 広島大学大学院 |
| 基本 | うえた しゆん 植田 俊 | 人文社会 | 〈障害者—健常者〉関係をゆるがすアダプテッド・スポーツ実践 —協働的实践としてのタンデム自転車の事例— | 東海大学 |